

令和4年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

		大学等名	秋田県立大学
科目名 (サブタイトル)	[17] ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司 (計1名)
授業概要	ミュージアムは建築そのものが特色ある作品であり、芸術作品を展示保管するために、機能的にも対応した空間が求められます。今回は、ドイツを中心としたヨーロッパの事例を旅しながら、その魅力にふれていただく機会とします。		
授業方法と留意点	令和3年度の内容を若干アップデートしたものになります。昨年度受講した方はご注意下さい。		
授 業 計 画			
【募集定員人数10名】先着順で募集を締め切ります			
< 6月 4日 (土) 13:20~14:50 >			
第1講: 「歴史あるミュージアム建築の魅力」 ルーブル美術館 (フランス, パリ), ウフィッツィ美術館 (イタリア, ミラノ), アムステルダム国立美術館 (オランダアムステルダム), を題材に, 建築の特徴と, 改修や増築の際の建築家の提案について解説します。			
< 6月 11日 (土) 13:20~14:50 >			
第2講: 「ミュージアム建築のアイデアと建築家の模索 -ホワイトキューブを超えて」 単に白い箱 (ホワイトキューブといいます) をつくれば便利でよいのか? 光や風景との対話, あえて彫刻作品のようにした建築など, 作品と向き合うだけではない, 視覚体験や展示方法を模索した (模索させる) 建築作品を中心に, 解説を行います。			
< 6月 25日 (土) 13:20~14:50 >			
第3講: 「ある芸術家, ある作品, ある街のための特別な空間」 特に重要な芸術作品と向き合うための特別な空間が, 建築に求められることがあります。秋田県立美術館の「秋田の行事」のための空間などを例にあげることができます。また, 街の歴史資源などをテーマにした展示空間では, 街や歴史遺産との関係も考えられています。この回では, そうした事例をご紹介します。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			
開講日時	6/4 (土)	6/11 (土)	6/25 (土)
	13:20~14:50		
会場	カレッジプラザ (秋田市中通2丁目1-5 1 明德館ビル2階)		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス 電話: 0184-27-2071 (平日9:00~17:00) E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		